



原村

今回は新メンバーを  
ご紹介します！

## 地域おこし協力隊

あきみ

坂口 陽史さん (22)



【出身地】千葉県四街道市

【ニックネーム】あっきー

【好きなこと】お酒、ごはんを食べること

【動物占い】とら

【役割】八ヶ岳自然文化園を拠点に観光振興  
と観光地域づくりに関するPR・運営【ひとこと】イベントの準備を頑張るので、  
是非皆さん来てください！

私たち2人からみた坂口さんはこんなひと  
安定感があり、頼りがいがある  
気配り上手  
人間力がある  
どこでも生きていけそうな逞しさがある



## 『自分ができることは何でもチャレンジしたい！』

幼い頃に家族旅行で毎年原村を訪れていた坂口さん。湧水を汲んできてご飯を炊いたり、地元で採れたばかりの野菜を食べたことや、朝市に行くのが楽しかったことがずっと心に残っていたそう。大学卒業を間近に控え将来を考え、幼少期に経験した豊かな自然の中に身を置き、恵みを感じられる暮らしがしたいと思った。長野県への移住を考え仕事を探していた時に、タイミングよく原村の地域おこし協力隊の募集を見つけ応募した。都心で就職してお金を貯めてからではなく、新卒で移住を決断したことになると思っていたし、お金があることが豊かだとは思わなかった。今朝も山が綺麗だとか、食べ物がおいしいとか、心にゆとりを持って暮らせることの方が豊かだと感じたので。」と語った。

大学ではサービスクリエーションを専攻し、観光学やマーケティング戦略を学び、自身を「サポート役が適任」と分析する坂口さん。小学校から高校まで野球少年で、高校では主将を務め、監督と選手たちの間に立ちお互いの想いを伝える役割を担う。イベントの主催をする際にはメンバー同士のやりとりや、イベントが円滑に進むようサポート役に徹していたという。

22歳という若さながら、沢山の異業種の人と関わり、相手を知る努力をし、常に自分の役割や立ち位置を考えて行動する坂口さん。「イベントの準備はすごく楽しい。目標をどのように実現していくかを考えている時、とてもワクワクします！」と、目を輝かせながら今の仕事をとても楽しんでいる様子を見せてくれた。